



### 当たり前前のことを当たり前前

教頭 伊多波 渉

明日から11月。朝夕の冷え込みが厳しくなり、朝の気温が1桁台になることも珍しくなくなってきました。登校時は冷え込みが一番厳しい時間帯ですので、温かい服装で登校するよう、ご家庭での声かけ・準備をお願いいたします。

先日、ラグビーのワールドカップが終わりました。残念ながら日本代表は決勝トーナメントに進むことはできませんでしたが、大男同士が激しくぶつかり合い、ボールを運びながら勝利を目指す姿を観て、心が熱くなった方もいたのではないのでしょうか。私も、その一人です。

スポーツに勝ち負けはつきものですが、勝ち負け以外のところで、日本のチームの振る舞いが、しばしば話題に上ることがあります。

ラグビーでは、前回の日本大会の際、試合終了後に、選手が一列に並んでスタンドのファンに礼をすることが、話題になりました。その後、真似をする外国チームが増えてきているそうです。

サッカーでは、ワールドカップの際、試合後に、日本代表が選手控室をきれいに清掃して退室したりサポーターが自主的にスタンドの清掃をしたりする行いが、世界から称賛されました。

日常の学校生活を振り返ってみると、礼をして感謝の気持ちを伝える、使った場所を清掃して元の状態に戻す、ゴミが落ちていたら拾うといった行動は、学校だけでなく日本のどこでも当たり前前に行われている行為です。逆に、このようなことが世界で話題になるということは、日本以外の国では当たり前前ではないということになります。そう考えると、私たち日本人の毎日当たり前前に行っている行為がいかに素晴らしいことなのか、誇りに思わずにはいられません。

これらは、教育によって身についた部分もありますが、多くは親や祖父母、地域の方々を見て、肌で感じて、身についたものが大半だと思います。「おはよう、いただきます」等の挨拶や「ありがとう」等の感謝の気持ち、「ごめんなさい」等の謝罪の気持ちを当たり前前に伝えられることが、いかに素晴らしいことなのか、改めて考える機会となりました。

山越小学校の子供たちは、当たり前前のことを当たり前前にできる子供たちばかりです。そんな子供たちが11月3日に行われる150周年記念式典では、これまで山越小の歴史を築いてきた地域の皆様の思いを汲みながら発表します。

保護者や地域の皆様からの励ましが、子供たちの大きな財産になります。地域で子供たちの姿を見かけたら声をかけてあげてください。よろしく願いいたします。



### 11月行事予定

1	水	開校記念日(150周年)	13	月	歯磨き指導1・2年
2	木	全校集会 5時間授業	15	水	5時間授業
3	金	開校150周年記念式典兼学習発表会	17	金	ピアサポート交流
6	月	振替休業日	22	水	3時間授業(給食なし)
8	水	5時間授業	23	木	勤労感謝の日
10	金	4時間授業	24	金	児童会⑧

## エスポラーダ出前授業（1・2年生）

10月16日（月）、東野小学校で行われたエスポラーダの出前授業に参加し楽しい時間を過ごしました。

エスポラーダは、北海道にあるプロのフットサルチームです。そのチームから講師が来てくださり、サッカーボールを使って様々な動きを教えてくださいました。子供たちは、お尻やお腹でボールに乗ったりドリブルしながら「ダルマさんが転んだ」をしたりと、楽しみながら活動しました。また、2チームに分かれたリレーでは、チームメイトを一生懸命に応援したり一緒に喜び合ったりしながら、笑顔いっぱい交流を深めました。

山越小学校に戻ってからは、お互いに「楽しかったね!」「また、やりたいね!」と感想を伝え合う姿も見られました。今後も、体を動かすのが楽しいと思える体育の学習活動を工夫していきます。



## CS 稲刈り（5・6年生）

10月18日（水）、八雲町複式小学校4校が集まり、東野小学校で稲刈り体験をしました。普段、道徳の遠隔授業で顔を合わせていますが、実際に会って活動するのをみんな楽しみにしています。

昨年度は、学校ごとにまとまって稲刈りを行いました。今回は学年ごとのグループで活動しました。

高学年は、子供たちのチームワークがとても良く、互いに声をかけあいながら田んぼの中央とふちをテキパキと往復し、まるでプロのような仕事ぶりでした。5・6年生のエリアは隣同士だったのですが、最後には2つのエリアがつながり、大収穫の稲刈りとなりました。

遠隔学習や宿泊研修・修学旅行などの行事での交流を積み重ね、中学校でも友好的な人間関係を築けるよう、今後も支援を続けます。



## ピアサポート学習（特別支援学級）

10月2日（月）、東野小・野田生小・山越小の3校が集まり、野田生小学校で合同のピアサポート学習を行いました。ピアサポート学習で大切なのは、「子供たちが互いに思いやり、助け合い、支え合って人間関係を育む」ことです。

この日は、まず、アウチあいさつから始まり、友達の好きなことやものを聞く活動、じゃんけん列車をしてどんどん一つのつながりをつくっていく活動を行いました。最後は、サイコロトークで自分のことを相手に伝える活動をし、共感したり質問したりしながら人間関係を深めていく体験をしました。

はじめは、緊張して他校のお友達のところへ行くのを躊躇していましたが、じゃんけん列車が始まると、「やったあ」と言いながら、笑顔でじゃんけんを楽しんでいました。たくさんのお友達と、心も体も共感しあえた大切な時間でした。



## 各種コンクールなど表彰

町内の各種コンクールに応募した作品の結果を紹介します。

### ○八雲町読書感想文コンクール

**鶴田智也賞**

5年 小島 容雄

### ○税の書道展

**委員特別賞**

6年 三浦 瑠乃

### ○やくも学ジュニア検定

**特 級**

6年 三浦 瑠乃

### ○火災予防書道コンクール

**八防管協会会長賞**

6年 三浦 瑠乃

5年 佐藤あらた

**熊危安協会会長賞**

5年 湊 胡桃

